

る り こ う
寺だより 「瑠璃光」

元旦・第2号 平成19年1月1日
発行責任者 倉松俊弘・護持会総務広報担当 阿部泰治

真言宗 智山派

医王山 阿弥陀院 薬王寺

TEL : 0289-65-5315 FAX : 0289-64-5339

URL : <http://www.yakuohji.or.jp>

新年のご挨拶



薬王寺 円明院
住職 倉松俊弘

新年明けましておめでとござい
ます。昨年は薬王寺 円明院の護持興
隆にご尽力をいただき感謝申し上げ
ます。

さて、皆様にとって昨年ほどのよう
な年でしたでしょうか？嬉しいこと、
怒ること、哀しいこと、楽しいこと、い
ろいろなことが経験された一年であっ
たことと思います。

この世の現象は自分に都合の良いこ
とばかりでなく、この喜怒哀楽すべて
が因縁によって成り立ち、そして必ず
何かしらの意味があるというところに気
がつかなければなりません。それが
「智慧」でありさらなる精進を積みた
いものです。

世間では、北朝鮮のミサイル実験や
核実験、泥沼化するイラク情勢、一
般市民を巻き添えにするテロ、非情
な殺人、いじめによる自殺など末法の
世界です。どうか今年が、すべての生
きとし生けるものにとって安楽が得ら
れるようにお祈り致します。

合掌

法要のご案内 1 ~ 3 月



1月8日(月)

初薬師 鹿沼招福七福神縁日

午前6時 ~ 本堂、七福神堂前にて



2月15日(木) 涅槃会(常楽会)

お釈迦さまが入滅された2月15日に、その徳を偲
び、感謝を捧げるために行う法要で、「涅槃会(常楽
会)」といひます。涅槃像を掛け『涅槃経』や『遺教経』
などお釈迦さまの入滅時の様子や、最後の教えを説い
たお経を読誦します。涅槃像には、お釈迦さまの入滅さ
れたお姿と、それを嘆き悲しむ弟子や信者、動物たち
の姿が描かれています。



3月15日(木) 正御影供法要・春季彼岸会

午前11時 ~ 本堂にて

宗祖・弘法大師は、承和2年(835)3月21日にご入定さ
れました。真言宗では、大師の恩恵へ感謝を表すために
御影(お姿)をお祀りし法要を行います。

3月21日の入定の日に行う法要を、「正御影供」、3月
以外の月の21日に行う法要を「月並御影供」といひます。

当寺では、正御影供に併せ、春彼岸法要を厳修してい
ます。宗祖・弘法大師への報恩感謝、各家先祖代々霊と
有縁無縁の諸霊に祈ります。

平成19年 薬王寺 年間テーマ「感謝の輪」

さて、昨年は「楽」をテーマに掲げました。自分だけではなく、ほかの人の楽しみを自分の楽しみとする事でした。この真の「楽」を得られましたか？

今年は「感謝の輪」をテーマに生活してみましよう。人は一人では生きて行くことが出来ません。お互いに支え合って生かされています。「感謝の輪」とはありがたいの気持ちをキャッチボールすることです。

たとえば、電車の中で席を譲ってあげたら「有難うございました」と言われます。譲った方は「いいえどういたしまして」と返します。しかし、さらに感謝の意を返すのです。「座って頂き有難うございました」と。お店で買い物をした時、お店の人から「毎度有難うございます」と言われます。その時に「こちらこそ買わせて頂き有難うございました」と返すのです。診察室で患者さんが「先生有難うございました」、と言われたら先生も「いや診させて頂き有難うございました」と、「ありがたい」とは「あることが難しい」ことなのです。いつの間にか「あたりまえ」になっていませんか？

今の時代、何となくせわしく毎日を送っています。出会う人と感謝のキャッチボールができれば、いじめや人を傷つける事が無くなり、「感謝の輪」が広がり、心通い合う温かい社会になるでしょう。合掌

「六地藏尊 開眼法要」のお知らせ



故津村宗次郎様より「六地藏尊」のご寄進をいただき、「開眼法要」を予定いたしておりましたが、近日中に「開眼法要」を厳修できる運びとなりそうです。

詳細が決定次第、「当寺に掲示」させていただくとともに、「薬王寺ホームページ」にてお知らせさせていただきます。 URL: <http://www.yakuohji.or.jp>

「朝の勤行(聖典読誦会)」のお誘い

毎朝、午前6時より本堂にて朝の勤行(聖典読誦会)をいたしております。

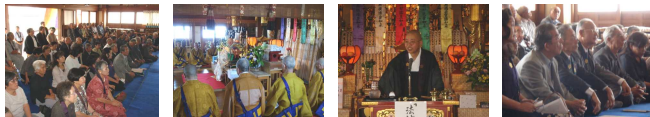


「智山勤行式」という、真言宗智山派に伝わる読経で、ご本尊様とご先祖様に朝のご挨拶をいたします。「六波羅蜜行」「法句経」を唱え、住職の説法もごさいます。



是非ご参加いただき、清々しい一日の始まりを迎えてみてはどうでしょうか？お待ちいたしております。

大施餓鬼会(秋季彼岸会) 報告



9月22日(金) 沢山の方が参列される中、「大施餓鬼会」が厳修されました。

法要に先立ち、紀州・和歌山県根来より、画僧・本山特派布教師でもある、「牧 宥恵先生」にご来寺いただき、ご法話をいただき、笑顔とユーモアの中、有意義な法話にみなさん耳を傾けました。



「平成19年 智山御寶歴」訂正とお詫び

裏表紙「年中行事」の日程に誤植がございます。

誤植 春彼岸会 三月十七日～二十三日

訂正 春彼岸会 三月十八日～二十四日

訂正させていただくと共に、お詫び申し上げます。

除夜の鐘 元朝護摩供法要 報告

「除夜の鐘」

12月31日(日)大晦日午後11時30分より 鐘楼堂にて大晦日は、旧い年が「除けられる日」という意味もあるそうで、その「除日」の夜に撞かれるので「除夜の鐘」といい、百八の鐘を打ちならします。百八の数は私たちの心の迷いである「百八煩惱」に由来し、鐘を撞くことで往く年を反省し、来る年に希望を託して除災招福を祈りました。



「元朝大護摩供法要」

平成19年元旦(祝日・月)



午前0時・午前11時より 本堂にて

ご本尊さまとご先祖さまに年頭の挨拶をし、元朝大護摩で一年の加護をご本尊さまに祈念しました。

「護摩札」「智山御寶歴」等、お檀家のみなさまへお届けしました。お仏壇におまつりいただき、一年間ご家族の幸せをご祈念ください。

一口法話 おかげさまで 第2回

ある日の外来での話。

「ちゃん、診察室へどうぞ。どうしましたか？」「先生、この子が40度の熱があるんです。元気はあるんですけど、死んじゃうんじゃないか心配で、頭がおかしくなりませんか？心配で心配で。先生何とかして下さい。」「心配ありませんよ。熱で死んだりしません、頭がおかしくなることもありませんよ。安心して下さい。」

「××ちゃん、診察室へどうぞ。どうしましたか？」「大したことはないと思うんですがちょっと熱があり、元気がないんですけど。」「お母さん、いつからですか？昨日おとといですか。いま40度もありますよ。お母さん、子供の熱は怖いんですよ。けいれんを起こしたり、脳に後遺症を起こしたり、命を落とすこともあるんですから。少しは心配して下さい。」

同じ子供の熱ですが、お母さんに対する説明は正反対ですね。過度に心配する親には安心を、安心しきっている親には少し不安を与えます。どちらも可愛い大切な子供のために。

「対機説法」という言葉があります。お釈迦様は弟子達に応じて時にはやさしく、時には厳しく法を説いたのです。慈悲の心、思いやりの心を持って弟子達に接しました。そして、弟子達もお釈迦様の温かい慈悲の心に気づくことが出来ました。私たちが相手を思いやる心、いたわる心、慈しむ心を持ち精進しましょう。

常に「おかげさまで」という感謝の心を持って生活しましょう。合掌